Ⅳ．試験結果の活用促進

1　認定証

A．2022 年 4 月以降に検定試験に合格された方

2022 年 4 月以降に各委員会が主催する検定試験に合格した場合、受験者に対し「デジタル認定証（オープンバッジ）」を発行（無料）。（一部の試験を除く）

なお、受験者に対しては「デジタル認定証（オープンバッジ）」の他、デジタル認定証明書 PDF 及び、試験結果帳票 PDF を発行しており、試験結果帳票 PDF には「認定基準」「合格基準」「分野別得点率（または正答率）」「合否結果」「出題範囲」等を記載している。「デジタル認定証（オープンバッジ）」、「デジタル認定証明書 PDF」の見本は、以下のとおり

(1)「デジタル認定証（オープンバッジ）」見本　　※2022 年 4 月以降にご受験いただいた方

デジタル認定証（オープンバッジ）とは	ICT 活用教育分野における国際的な技術標準規格に準拠したデジタル証明であり、ブロックチェーン技術によって、実質的に偽造や改ざんが不可能のため、安心して利用できる。 なお、取得した資格や学習成果は SNS で共有することができる。また、ハイパーリンクを挿入したバッジ画像をメール署名や履歴書にも貼付可能。
デジタル認定証（オープンバッジ）のメリット	**・認定履歴の一元管理** 自分専用の「オープンバッジウォレット」で一元管理することができ、紙の認定証と比べ、紛失のリスクは無し。 **・偽造・改ざん防止** ブロックチェーン技術を取り入れており、実質的に偽造・改ざんが不可能。信頼性の高い証明書として、安心して利用できる。 **・様々なシーンで幅広く活用** メール署名、履歴書、SNS 等、様々なシーンで活用できる。

Copyright© 2024 Certify Inc. All Rights Reserved.

(2)「デジタル認定証明書 PDF」見本　　※2022 年 4 月以降にご受験いただいた方

※紙の「認定証」をサーティファイで発行し、交付することも可能。（有料）

B. 2022 年 3 月以前に検定試験に合格された方

各委員会が主催する検定試験に合格した場合、受験者に対し「認定証」を発行済み（無料）。「認定証」の見本は以下のとおり

なお、受験者に対しては「認定証」の他、試験結果帳票を発行済み。試験結果帳票には「認定基準」「合格基準」「分野別得点率（または正答率）」「合否結果」「出題範囲（不合格者のみ）」等を記載している。（一部の試験を除く）

(1)「認定証」見本　　※2022 年 3 月以前にご受験いただいた方

※試験により「認定証」の色やデザインは異なります。

Copyright© 2024 Certify Inc. All Rights Reserved.

(2)「認定証明書」の発行　※2022 年 3 月以前にご受験いただいた方

就職や単位認定等、企業や教育機関等に対し、必要に応じ合格実績を証明する「認定証明書」を発行している。

※試験・級名称、認定日、受験者氏名等の表記内容は認定証に順ずる。

※発行手数料は 1 通につき 1,000 円（税込）。

※2008 年以前に認定を受けた試験の「認定証明書」の発行は終了。

2　結果活用に関する情報

検定試験について、教育機関及び企業等団体等における活用事例をホームページに記載（以下は一例）

団体における検定試験の活用事例
・新入社員研修において、技術研修の成果測定、スキルチェックとして Java™プログラミング能力認定試験を導入（システム開発会社） ・学生の IT スキル習得に向けた動機付け、及び就職・進学時のスキルアピールツールとして、Excel 及び Word の各認定試験を採用（大学、コミュニケーション学科） ・実践的なスキルを習得し、その成果を定量化するために Web クリエイター能力認定試験を受験。モチベーションの向上にも役立っている。（短期大学、ライフデザイン学科） ・実社会で通用するホームページ制作能力の習得と、これに伴う就活サポート及び日常学習の動機付けの観点により Web クリエイター能力認定試験を採用。（大学、総合情報学部） ・日常実務への対応力を検定で確認するためビジネスコンプライアンス®検定を導入。（金融関連会社） ・従業員のコンプライアンスに対する理解度、浸透度を測る指標としてビジネスコンプライアンス®検定を活用（不動産業）

また、受験者の受験後の活用事例については合格体験記を募集し、各検定試験のホームページに掲載

なお、当社では以下のケース（制度、証明等）について申請を受け付け、資格取得後の活用を促しております。当社が把握できるものとして「オフィスマスター」の申請、「認定インストラクター」の申請、「認定講師」の申請等がある。

オフィスマスター （Office　Master）	・Office 系技能認定試験（下記）に完全合格した方を「オフィスマスター」と認定し、認定証、認定カード、デジタル認定証（オープンバッジ）を発行 ※Excel®表計算処理技能認定試験 1 級、Word 文書処理技能認定試験 1 級、Access®ビジネスデータベース技能認定試験 1 級、PowerPoint®プレゼンテーション技能認定試験上級 ・コンピュータを利用して多角的にビジネス実務を処理できる能力をアピールすることはもちろん、アプリケーション操作技能を指導するインストラクターにとっても幅広い高度なスキルを証明することが可能（申請料は無料）

Copyright© 2024 Certify Inc. All Rights Reserved.

オフィストリプルクラウン (Office Triple Crown)	・Office 系技能認定試験（下記）に完全合格した方を「オフィストリプルクラウン」と認定し、認定証、認定カード、デジタル認定証（オープンバッジ）を発行 ※Excel®表計算処理技能認定試験 1 級、Word 文書処理技能認定試験 1 級、PowerPoint®プレゼンテーション技能認定試験上級 ・コンピュータを利用して多角的にビジネス実務を処理できる能力をアピールすることはもちろん、特にビジネスシーンで使用頻度が高い3つのアプリケーション操作技能を指導するインストラクターにとっても幅広い高度なスキル
認定インストラクター	・下記試験に合格しており、かつインストラクター経験 5 年以上、またはそれに準ずる指導・講師経験があり、出題範囲を熟知し効果的な指導ができる方を試験別に認定する制度 ※Excel®表計算処理技能認定試験、Word 文書処理技能認定試験、Access®ビジネスデータベース技能認定試験、PowerPoint®プレゼンテーション技能認定試験、Illustrator®クリエイター能力認定試験、Photoshop®クリエイター能力認定試験、Web クリエイター能力認定試験の各最上位級 ・委員会の審査により認定。1 試験 1 名あたりの審査料 5,000 円（税込）
コミュニケーション検定 認定講師	・コミュニケーション検定上級合格者、かつ当該試験に関わる指導経験 3 年以上、または教育機関や企業などでコミュニケーションに関わる指導経験を 5 年以上有する方を認定する制度 ・委員会の審査により認定 ・1 名あたりの審査料 5,000 円（税込）
ケア・コミュニケーション検定　認定講師	・ケア・コミュニケーション検定を 85%以上で合格し、かつ当該試験に関わる指導経験 3 年以上、または教育機関や企業などでケア・コミュニケーションに関わる指導経験を 5 年以上有する方を認定する制度 ・委員会の審査により認定 ・1 名あたりの審査料 5,000 円（税込）
実践日本語コミュニケーション検定　認定インストラクター	・実践日本語コミュニケーション検定（PJC）A＋レベル取得、かつ日本語を母語としない方を対象にコミュニケーションに関わる指導歴を 3 年以上有する方を認定する制度 ・委員会の審査により認定 ・1 名あたりの審査料 5,000 円（税込）

Copyright© 2024 Certify Inc. All Rights Reserved.